Ⅷ　道路、交通及び通信

幹線道路網

本市の西側を縦断している国道58号は、沖縄の主要幹線道路で那覇市から沖縄本島を西海岸に沿って北は国頭村の奥部落まで延びている。本市の東側を通っている県道 241号線は、那覇市首里から西原入り口まで延び、そのまま国道 330号と連結している。また、本市の中央を縦断する国道330号は、国道58号、県道241号線等の交通渋滞を緩和するために造られたバイパスである。その他に仲間、安波茶を軸として県道153号線が那覇市首里～牧港を結び、本市を横断している県道38号線は屋富祖と前田を結び、国道58号と県道241号線に連結している。

また、国道58号と国道330号の間を通っている県道251号線（旧パイプライン線）は、内間から伊祖、牧港及び宜野湾市を結ぶ幹線となっている。

道路概況

平成21年３月31日現在の道路数は、国道が２、県道が４、市道が580の計586となっている。

また、道路総延長は約187キロメートルで、その総面積が約209.1万平方メートルである。

延長舗装率は94.7%となっている。

橋りょう

平成21年３月31日現在の橋りょう数は、国道10、県道11、市道33の計54橋で、その総延長が2,141メートルとなっている。この内訳は、国道669メートル、県道834メートル、市道638メートルである。

(122)　道路及び橋りょう現況（各年共３月末現在）

区分		平成19年				
		総数	国道	県道	市道	総数
路線数		**564**	**2**	**4**	**558**	**585**
総面積（㎡）		**2,076,001**	**486,763**	**342,548**	**1,246,690**	**2,081,827**
総延長（m）		**184,149**	**11,986**	**18,650**	**153,513**	**187,197**
砂利道延長（m）		875	－	－	875	875
セメント系舗装延長（m）		1,058	128	8	922	1,059
簡易舗装延長（m）		43,632	－	976	42,656	43,323
高級舗装延長（m）		131,577	11,858	16,245	103,474	133,855
延長舗装率（%）		95.7	100.0	92.4	95.8	95.2
総数	橋りょう数	49	10	10	29	53
	延長（m）	1,983	669	744	570	2,036
永久橋	橋りょう数	49	10	10	29	53
	延長（m）	1,983	669	744	570	2,036
木橋	橋りょう数	－	－	－	－	－
	延長（m）	－	－	－	－	－
ずい道（ﾄﾝﾈﾙ）	橋りょう数	2	2	－	－	2
	延長（m）	228	228	－	－	228

（注）・ずい道は西原トンネル、伊祖トンネルを計上した。

(123)　交通安全施設の設置状況（各年共３月末現在）　（単位：基、ヶ所）

年　度	道路反射鏡　市道　（基）	信 号 機 （基）	横 断 歩 道 橋 （ヶ所）
平成17年度	839	107	17
18	845	108	15
19	854	111	15
20	868	115	16
21	874	117	14
22	**881**	**118**	**14**

資料：沖縄県警察本部「交通白書」
南部国道事務所
中部土木事務所・道路課

（単位：m^2、m，％）

平　成　20　年			平　成　21　年			
国　道	県　道	市　道	総　数	国　道	県　道	市　道
2	**4**	**579**	**586**	**2**	**4**	**580**
486,763	**342,548**	**1,252,516**	**2,091,865**	**486,763**	**342,548**	**1,262,554**
11,986	**20,958**	**154,253**	**187,700**	**11,986**	**20,958**	**154,756**
－	－	875	**680**	－	－	680
128	8	923	**1,132**	128	8	996
－	976	42,347	**43,156**	－	976	42,180
11,858	16,258	105,739	**133,389**	11,858	16,258	105,273
100.0	82.3	96.6	**94.7**	100.0	82.3	98.7
10	10	33	**54**	10	11	33
669	744	623	**2,141**	669	834	638
10	10	33	**54**	10	11	33
669	744	623	**2,141**	669	834	638
－	－	－	**－**	－	－	－
－	－	－	**－**	－	－	－
2	－	－	**2**	2	－	－
228	－	－	**228**	228	－	－

（注）市道の延長舗装率は、セメント系・簡易・高級舗装延長を実延長距離（平成21年は150,386m）で除して得た数値である。

資料：南部国道事務所
中部土木事務所
道路課

バ　ス

鉄軌道のない本県における公共輸送機関は、バス・タクシーであり、その中でもバスは県民生活に欠くことのできない輸送機関で、県民の足として重要な役割を果たしている。

(124)　バスの運行状況（各年共４月１日現在）　（単位：回）

年次	路線数	停留所数	1日運行回数				
			総数	琉球バス交通	沖縄バス	東陽バス	那覇バス
平成18年	40	59	r843	492	171	110	70
19	40	59	877	492	206	110	69
20	42	83	925	506	239	104	76
21	43	82	r872.5	r471	221.5	104	76
22	**42**	**82**	**841.5**	**446**	**217.5**	**99**	**79**

資料：琉球バス交通･沖縄バス･東陽バス･那覇バス

(125)　バス路線別、運行間隔及び１日運行回数（平成22年４月１日現在）　（単位：分、回）

路線名	会社名	市内経由地点	始点←→終点	運行間隔（分）	一日運行回数
屋慶名線	琉球バス交通	勢理客～牧港	那覇～屋慶名	20～40	16
長田具志川線	〃	勢理客～牧港	那覇～具志川	30～60	32
謝苅線	〃	勢理客～牧港	那覇～具志川	20～40	17
読谷線（喜名）	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	－	3
読谷線（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	－	3
読谷線（楚辺）	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	10～20	24
名護西線	〃	勢理客～牧港	那覇～名護	－	3
具志川線	〃	勢理客～牧港	那覇～具志川	20～40	82
知花線	〃	沢岻～浅野浦	那覇～具志川	15～30	61
琉大線	〃	沢岻～浅野浦	道の駅豊崎～琉大北口	20～40	39
浦添線(浦西団地折返)	〃	内間～浦西団地東口	道の駅豊崎～浦西団地東口	20～40	35.5
浦添線（西原折返）	〃	内間～西原	道の駅豊崎～西原	－	2
牧港線	〃	内間～牧港	道の駅豊崎～宜野湾	30～50	30.5
国体道路線	〃	沢岻～牧港	那覇～具志川	－	10
名護西空港線	〃	勢理客～牧港	那覇空港～名護	15～30	13
宜野湾線	〃	沢岻～浅野浦	道の駅豊崎～宜野湾	－	9
天久新都心線	〃	勢理客～牧港	那覇空港～宜野湾	20～40	34
具志川おもろまち線	〃	勢理客～牧港	おもろまち～具志川	－	13
知花おもろまち線	〃	沢岻～浅野浦	おもろまち～具志川	－	4
屋慶名おもろまち線	〃	勢理客～牧港	おもろまち～屋慶名	－	6
読谷おもろまち線	〃	勢理客～牧港	おもろまち～読谷	－	6
謝苅おもろまち線	〃	勢理客～牧港	おもろまち～具志川	－	3
屋慶名線	沖縄バス	勢理客～牧港	那覇～屋慶名	20～60	31
屋慶名おもろまち線	〃	勢理客～牧港	那覇～屋慶名	－	7
読谷線（楚辺）	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	10～15	24
読谷線(ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ)	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	－	3
読谷線（喜名）	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	－	3
読谷おもろまち線	〃	勢理客～牧港	那覇～読谷	－	6
名護東線（辺野古）	〃	勢理客～牧港	那覇～名護	30	22
名護西線	〃	勢理客～牧港	那覇～名護	15～20	3
与勝線	〃	勢理客～牧港	那覇～屋慶名	20～40	22
名護西空港線	〃	勢理客～牧港	空港～名護	－	13
与那城線	〃	勢理客～牧港	那覇～屋慶名	－	7.5
コンベンションセンター線	〃	勢理客～牧港	那覇～真志喜	10～55	36
てだこ線	〃	勢理客～経塚	那覇～経塚	－	34
てだこおもろまち線	〃	勢理客～経塚	那覇～経塚	－	6
泡瀬西線	東陽バス	勢理客～牧港	那覇～泡瀬営業所	10～30	55
城間線（南風原）	〃	第一経塚～屋富祖	馬天～屋富祖	－	17
城間線（一日橋）	〃	第一経塚～屋富祖	馬天～屋富祖	30～60	27
普天間空港線	那覇バス	広栄団地入口～幸地入口	空港～普天間	10～60	30
琉大線	〃	幸地入口～西原入口	那覇BT～琉大北口	15～30	40
糸満西原線	〃	幸地入口～西原入口	糸満～西原	10～60	9

資料：琉球バス交通、沖縄バス、東陽バス、那覇バス

自　動　車

本県では、自動車が唯一の陸上交通手段であり、近年における生活水準の向上や生活圏の拡大、モータリーゼーションの進展等によって年々増加してきたが、平成13年度以降、登録自動車総数は減少傾向にある。

(126)　登録自動車台数（各年度共３月末現在）　（単位：台）

区分 年度	業態	登録自動車総数	貨物用 普通車	貨物用 小型車	貨物用 被けん引車	乗合用 普通車	乗合用 小型車	乗用 普通車	乗用 小型車	特種(殊)用途用 特種用途車	特種(殊)用途用 大型特殊車
平成17年度	自家用	39,947	2,182	4,822	8	19	78	9,383	22,020	1,314	121
	事業用	1,928	660	86	384	3	2	20	584	189	0
	合　計	41,875	2,842	4,908	392	22	80	9,403	22,604	1,503	121
平成18年度	自家用	38,142	2,164	4,538	10	20	83	8,931	20,946	1,331	119
	事業用	2,024	689	80	439	3	3	20	594	196	0
	合　計	40,166	2,853	4,618	449	23	86	8,951	21,540	1,527	119
平成19年度	自家用	36,611	2,113	4,390	9	22	79	8,588	19,941	1,360	109
	事業用	2,090	748	78	438	3	3	20	597	203	0
	合　計	38,701	2,861	4,468	447	25	82	8,608	20,538	1,563	109
平成20年度	自家用	35,405	1,984	4,080	5	23	73	8,330	19,505	1,294	111
	事業用	2,079	721	76	458	4	3	19	586	212	0
	合　計	37,484	2,705	4,156	463	27	76	8,349	20,091	1,506	111
平成21年度	**自家用**	**34,524**	**1,982**	**3,959**	**5**	**23**	**79**	**8,100**	**18,982**	**1,281**	**113**
	事業用	**2,197**	**733**	**80**	**571**	**3**	**4**	**17**	**551**	**238**	**0**
	合　計	**36,721**	**2,715**	**4,039**	**576**	**26**	**83**	**8,117**	**19,533**	**1,519**	**113**

資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

(127)　届出自動車保有台数（各年度共３月末現在）　（単位：台）

区分 年度	総数	小型二輪車 250cc以上	軽自動車（660cc以下） 二輪車 250cc以下	軽自動車（660cc以下） 貨物車	軽自動車（660cc以下） 乗用車	小型特殊車（農耕用・その他のもの）	原動機付自転車 50cc以下	原動機付自転車 90cc以下	原動機付自転車 125cc以下
平成17年度	45,530	1,127	2,370	9,038	22,355	18	8,053	1,199	1,370
平成18年度	44,262	1,063	2,083	8,252	21,924	19	8,205	1,133	1,583
平成19年度	50,722	1,182	2,833	9,172	26,340	19	8,333	1,077	1,766
平成20年度	52,296	1,277	3,007	9,096	27,529	20	8,333	1,021	2,013
平成21年度	**53,635**	**1,306**	**3,134**	**8,992**	**28,461**	23	8,418	972	2,329

（注）50cc以下には、ミニカーを含む。
原動機付自転車には、軍人軍属の所有台数を含まない。

資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」
市民税課

電　話

電話は遠・近距離へ手軽に利用できる伝達・通信手段として普及してきたが、近年､情報処理・情報通信技術の急激な発展により、携帯・自動車電話、PHS、インターネットサービスなどによる通信が急速に普及するとともに通信媒体も多様化している。

こうした中で、従来の住宅用及び事務用の加入電話、公衆電話は減少傾向にある。(※平成20年度の県内の携帯･自動車電話契約数は1,021,978件、ISDN45,618件で、加入電話数357,904件を大幅に上回っている。資料：平成22年版沖縄県統計年鑑)

(128)　電話施設の概況（各年度共３月末現在）　　(単位：戸、回線数)

年度	世帯数 (A)	総数 (B)	加入電話			公衆電話	普及率 B/A×100
			総数	住宅用	事務用	街頭公衆	
平成15年度	38,796	38,214	37,886	28,791	9,095	328	98.5
16	39,504	37,234	36,938	28,364	8,574	296	94.3
17	40,384	33,552	33,299	25,529	7,770	253	83.1
18	41,146	31,103	30,861	23,693	7,168	242	75.6
19	41,960	27,995	27,766	21,142	6,624	229	66.7
20	42,695	25,588	25,362	19,349	6,013	226	59.9
21	**43,388**	22,820	22,606	**17,116**	**5,490**	**214**	52.6

資料：ＮＴＴ西日本 沖縄支店

(129)　郵便物数の推移（各年度共３月末現在）

年度	引受郵便物						
	総数		通常郵便物（通）			小包郵便物	
		一日平均	計	普通	書留	計	普通
平成16年度	9,926,363	27,196	9,727,462	9,570,235	157,227	198,901	198,224
17	9,856,825	27,005	9,663,740	9,517,399	146,341	193,085	192,585
18	10,641,017	29,153	10,427,209	10,250,762	176,447	213,808	213,344
19	－	－	－	－	－	－	－
20	－	－	－	－	－	－	－
21	－	－	－	－	－	－	－

(注) 引受郵便物は浦添市内の郵便局窓口で引き受けられたものである。
※15年度は配達郵便物の通常普通郵便がデータ不足のため集計がとれない。
※数値には年賀、選挙、国際を含まない。
※民営・分社化以降は市町村ごとの物数の公表は行っていない。

郵　便

本市には、平成21年３月31日現在で12局の郵便局がある。その内訳は、普通局１、無特局11、また１局当りの利用人口は、0.9万人、人口１万人当りの切手・印紙類販売所は7.7ケ所、同ポスト数は8.5箱となっている。

(130)　市別郵便利用普及状況（平成22年３月末現在）

市別	人口（万人）	窓口機関					郵便切手類販売所		郵便ポスト	
		総数	郵便局	分室	簡易局	一局当り利用人口（万人）	所数	人口一万人当り所数	箱数	人口一万人当り箱数
沖縄県	**141**	**202**	**180**	**2**	**20**	**0.7**	**1,448**	**10.3**	**1,589**	**11.3**
那覇市	32	41	40	1	－	0.8	315	9.8	340	10.6
うるま市	12	16	11	－	5	0.8	75	6.3	108	9.0
宜野湾市	9	10	10	－	－	0.9	63	7.0	71	7.9
宮古島市	5	13	10	－	3	0.4	99	19.8	74	14.8
石垣市	5	8	8	－	－	0.6	87	17.4	77	15.4
浦添市	**11**	**12**	**12**	**－**	**－**	**0.9**	**77**	**7.0**	**93**	**8.5**
名護市	6	10	9	－	1	0.6	80	13.3	105	17.5
糸満市	6	9	8	－	1	0.7	47	7.8	51	8.5
沖縄市	13	13	13	－	－	1.0	97	7.5	100	7.7
豊見城市	6	4	4	－	－	1.5	33	5.5	35	5.8
南城市	4	9	4	－	5	0.4	40	10.0	54	13.5

（注）人口は、沖縄県市町村課の住民基本台帳人口による。（千の位を四捨五入）資料:郵便局株式会社沖縄支社
郵便事業株式会社沖縄支社

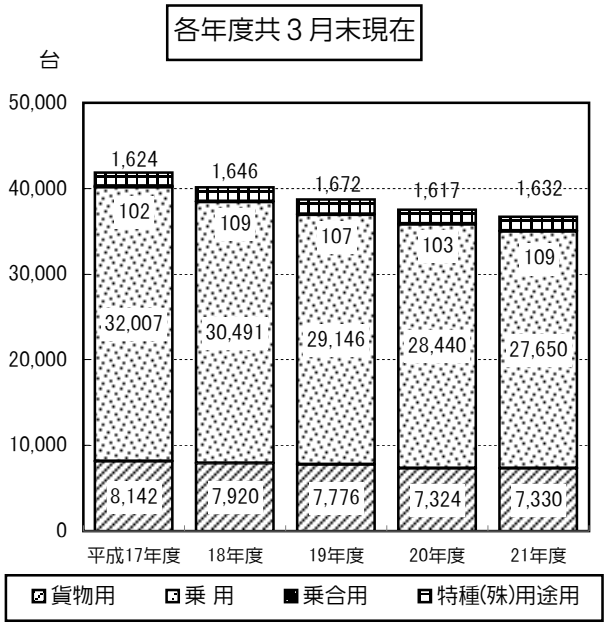
（単位：通、個）

(個)	配達郵便物							
	総数		通常郵便物（通）			小包郵便物（個）		
書留		一日平均	計	普通	書留	計	普通	書留
677	14,373,377	47,752	14,141,892	13,954,637	187,255	231,485	214,162	17,323
500	13,687,550	45,187	13,449,570	13,294,278	155,292	237,980	225,698	12,282
464	16,267,092	46,082	16,019,017	15,773,687	245,330	248,075	227,995	20,080
－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－

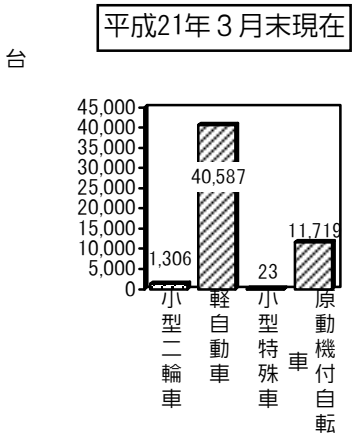
※平成16年度以降の冊子小包は引受郵便物の小包郵便物に含まれる。　　資料：郵便事業株式会社沖縄支社
（配達郵便局では通常郵便物に含まれる。）
※平成18年度配達郵便物については、同年度９月の「集配拠点・郵便貯金・
簡易生命保険の外務営業拠点の再編」に伴い、西原町の配達物数が含まれる。

Ⅷ　道路、交通及び通信

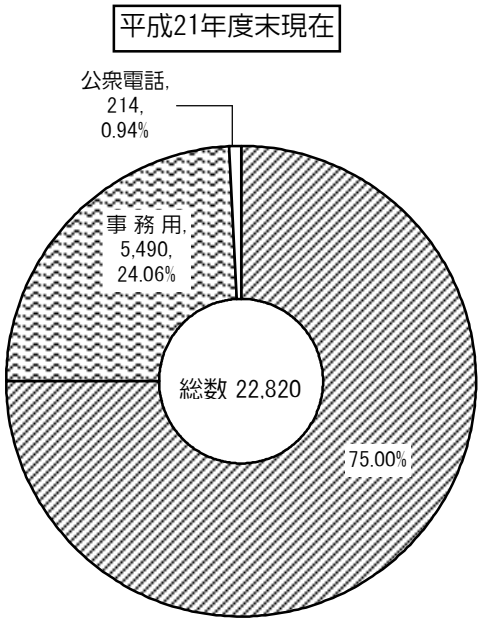
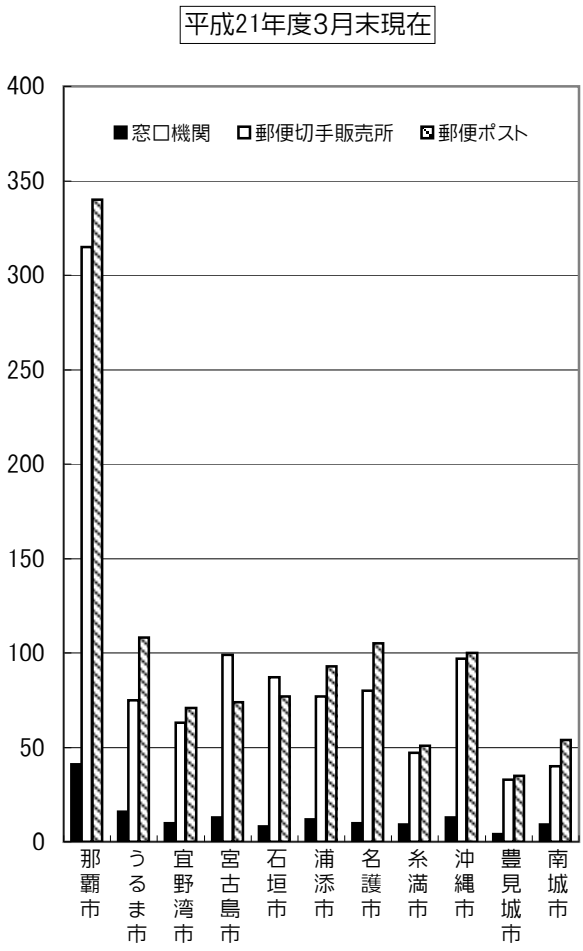
(52) 本市の登録自動車台数の推移（P111参照）



(53) 本市の届出自動車（小型）保有台数（P111参照）



(54) 種類別、電話の構成（P112参照）



(55) 市別郵便機関数（P113参照）